

1. 基本情報

- (1) 国名：カンボジア王国（以下、「カンボジア」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：プノンペン都、カンダール州
- (3) 案件名：国道1号線・メコン架橋整備計画（National Road No.1 and Mekong Bridge Development Project）
- (4) 計画の要約：

本計画は、プノンペン都とベトナム国境を結ぶ国道1号線のうちプノンペン都－ネアックルン間において道路改良・拡幅及びメコン架橋を建設することにより、対象地域における道路輸送・物流の円滑化を図り、同国における南部経済回廊の連結性向上に寄与することを目的とする。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

カンボジアはメコン地域の中心に位置する、地域の連結性と域内の格差是正の鍵を握る重要な国であり、我が国は同国の内戦後の和平・復興・開発への貢献や活発な要人往来、国際場裡での協力等を通じ、同国との関係を強化してきた。外交関係開設70周年の2023年には日本・カンボジア関係は「包括的戦略的パートナーシップ」に格上げされ、両国関係を更に飛躍させていくことで一致している。

2023年8月に策定された同国の国家開発計画「第一次五角形戦略」（2023-2028）においては、重点分野として輸送部門における連結性・効率性の向上が掲げられており、本計画の実施は南部経済回廊を構成する重要な道路整備及び架橋建設を通してこれらに資することから、二国間関係の強化及び地域連結性の向上に貢献することが期待される。我が国の対カンボジア国別開発協力方針（2024年4月改定）では、カンボジアの「経済成長をもたらす産業の変革と発展」に向けた支援を重点分野と位置付け、産業振興や投資促進に向けた基盤整備のため、物流（道路、港湾、税関など）の円滑化による連結性強化に向けた協力を実施する方針を明記している。本計画は、上記の同国の国家開発計画及び我が国の国別開発協力方針に合致しており、二国間関係の更なる強化の観点からも重要であることから外交的意義は大きい。

- (2) カンボジアにおける道路セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け

カンボジアはタイとベトナムを結ぶ南部経済回廊の中央に位置しており、地域的な物流の中継基地となることが期待されている。カンボジアの国内輸送の中心的な役割は道路が担っているが、国道・州道の舗装率は約56%（2022年、Overview of the Transport Infrastructure Sector in the Kingdom of Cambodia）と低く、4車線以上の主要国道の延長距離も国道全体の1割以下にとどまり、経済発展に伴い近年増

加している交通量に対し、道路インフラ整備の遅れが円滑な物流の妨げとなっている。

特に、プノンペン都とベトナム国境を結び南部経済回廊の一部を成す国道1号線は地域交通の要衝だが、多くの区間は片側1車線の道路であり、十分な幅員が確保されていない。近年、都市圏の拡大及び人口増加に伴い交通量が増加しており、現在の道路容量では、国道1号線が南部経済回廊上のボトルネックとなることが予測されている。

カンボジア政府は、運輸交通・物流分野の総合計画である「包括的インターモーダル運輸・物流システムマスタープラン2023-2033」において、国道の建設・改良事業およびプノンペン都周辺におけるメコン架橋事業を優先事業に掲げ、プノンペン都を中心とした周辺国との連結性の向上を目指している。

本計画は、南部経済回廊の一部を成す国道1号線において、プノンペン都中心部・郊外部の道路の改良・拡幅及びメコン架橋の建設を行い、輸送能力の増強及び輸送効率の改善を通じた南部経済回廊上の輸送・物流の円滑化を図るものであり、カンボジア政府が進める上記マスタープランの達成に必要な優先度の高い事業として位置づけられる。

3. 計画概要

* 協力準備調査の結果変更されることがあります。

(1) 計画概要

① 計画内容：

- ア) 既存道路の改良・拡幅（立体交差点を含む）（全長約52.8km）
- イ) 橋梁の建設（橋梁約3km、取付道路約4.5km）
- ウ) コンサルティング・サービス（詳細設計、入札補助、施工監理、環境社会配慮支援等）

② 期待される開発効果：

以下の成果により南部経済回廊の連結性向上への貢献が期待される。

年平均日交通量（PCU/日）：

【ニロートパゴダ交差点】61,600（基準値）→84,500（目標値）

【コーキーマーケット地点】29,900（基準値）→58,800（目標値）

【メコン架橋】0（基準値）→76,100（目標値）

所要時間（分）：

【モニボン橋～ネアックルン橋】103（基準値）→75（目標値）

【メコン架橋～チュルイチョンバー橋】52（基準値）→17（目標値）

- ③ 借入人：カンボジア王国政府（The Royal Government of Cambodia）
- ④ 計画実施機関／実施体制：公共事業運輸省（Ministry of Public Works and Transport）
- ⑤ 他機関との連携・役割分担：なし。
- ⑥ 運営／維持管理体制：MPWT

(2) その他特記事項：

- 環境社会配慮カテゴリ分類：A
- ジェンダー分類：GI

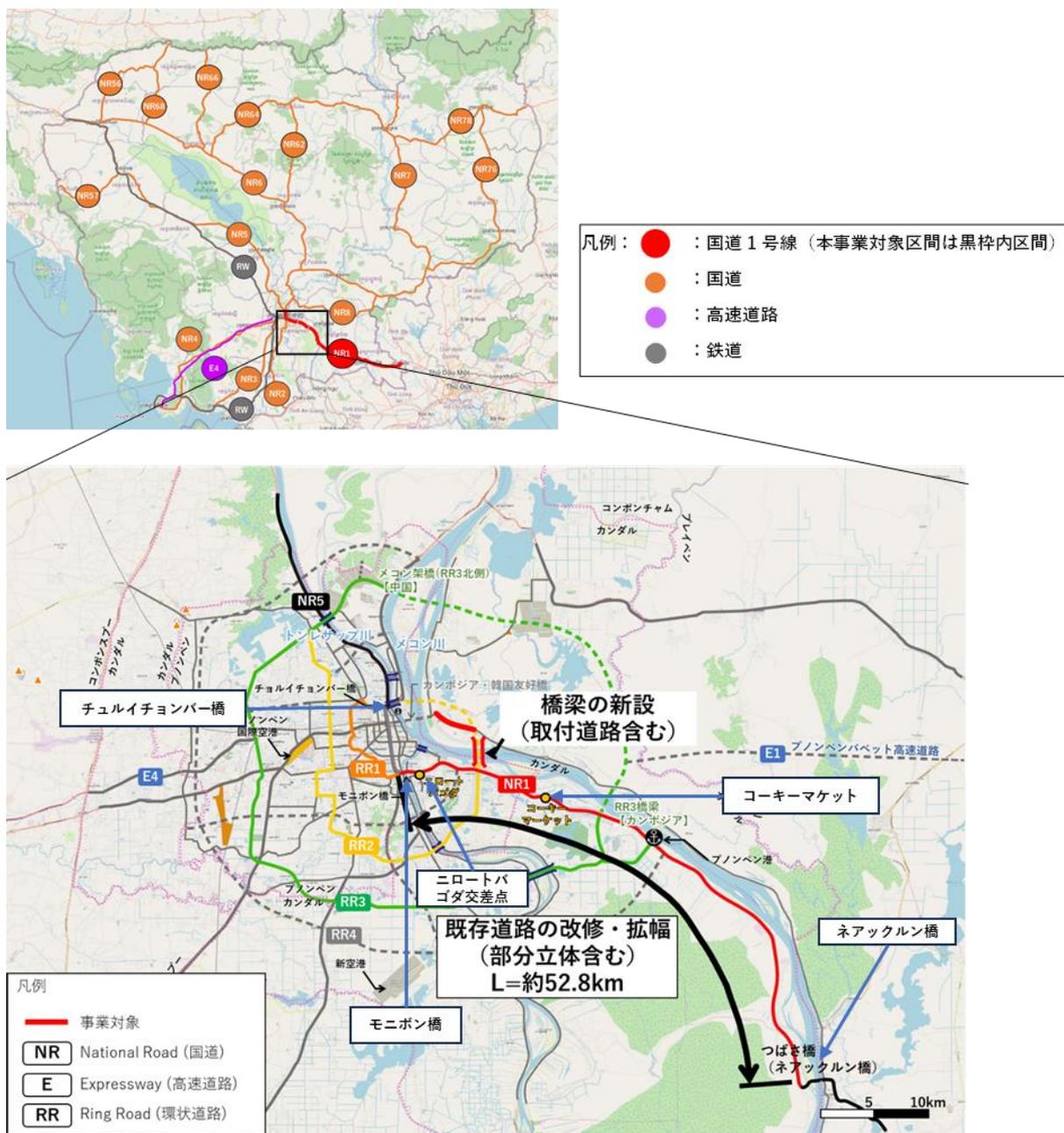
4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

カンボジア王国向け無償資金協力「国道一号線改修計画（第一期～第四期）」（評価年度 2020 年度）の事後評価等では、用地取得・住民移転の補償方針について、再取得価格や隣接区間の補償方針との整合性を確保することが、被影響住民の生計・生活環境への影響緩和や不公平感の是正の観点から重要であるとの教訓を得ている。本計画では、これらの教訓を踏まえ、環境社会配慮ガイドライン（2022 年 1 月公布）に基づき、適切な補償方針が策定されるよう実施機関を支援する予定。

以上

[別添資料] 地図「国道1号線・メコン架橋整備計画」

地図「国道1号線・メコン架橋整備計画」



出典：カンボジア国 南部経済回廊（道路・橋梁セクター）に係る情報収集・確認調査 ファイナル・レポートよりJICA作成